

第19回 徳島県中学校剣道1年生大会

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

【大会開催の基本方針】

1. 大会会場となる施設の方針を遵守するものとする。
2. 選手並びに関係者等に対し、本ガイドラインの内容を周知徹底する。
3. 大会での密集を避けるため、男女入れ替えの時程を設定する。また、各場面において、主催者側から密集を避けるための措置について連絡する。
4. 選手並びに関係者以外は入場させない。入場制限があることを周知徹底する。
関係者とは、出場校の監督(校長, 教員, 部活動指導員, 外部指導者のうち1名)・引率者(校長, 教員, 部活動指導員のうち1名), 審判員, 役員, 生徒役員(選手を兼ねることができる), 保護者(登録選手1人につき1名のみ), 報道関係等をいう。
※感染状況により、入場制限を変更(無観客等)する場合がある。
※保護者は、登録選手1人につき1名のみ入場を認める。(未就学児等は保護者と一緒に入場できない。)
※2年生応援生徒の入場は認めない。
5. 選手並びに関係者等はガイドラインを遵守し、安全な大会運営に協力する。

【大会参加に必要な提出書類】

提出者	提出日	提出方法	提出書類	提出先
監督・引率者 〃	大会申込時 大会当日	学校別 男女別	大会申込書 学校同行者体調記録表(別紙②)	大会事務局 大会受付
選手 〃 〃	大会前 大会前 大会当日	個人 個人 個人	行動履歴書(別紙④) 大会参加同意書(別紙⑤) 体調記録表(別紙①)	各自保管 監督・引率者 監督・引率者
生徒役員 〃 〃 役員(生徒役員校教員)	大会前 大会前 大会当日 大会当日	個人 個人 個人 男女別	行動履歴書(別紙④) 大会参加同意書(別紙⑤) 体調記録表(別紙①) 学校同行者体調記録表(別紙②)	各自保管 役員(生徒役員校教員) 役員(生徒役員校教員) 大会受付
審判員, 役員, 来賓, 保護者, 報道関係	大会前 大会前 大会当日	個人 個人 個人	体調記録表(別紙①) 行動履歴書(別紙④) 来場者体調記録表(別紙③)	各自保管 各自保管 大会受付

※書類の作成及び提出に関しては、別紙一覧(大会参加までの流れ)を確認する。

【試合参加制限】

1. 次の項目に該当する者は試合に参加できない。また、会場への立ち入りも同様とする。
(ア) 新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者に認定された者。
(イ) 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる場合。
(ウ) 発熱(個人差はあるが、おおよそ37.5度以上の者をいう)、咳、頭痛等などの症状がある者。
(エ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 監督・引率者、役員(生徒役員校教員)は、保護者へガイドライン等を事前に説明し、大会に参加する生徒に同意書(別紙⑤)を提出させる。
3. 上記「【大会参加に必要な提出書類】」を確認し、それぞれの立場で書類の作成及び提出を行う。
※監督・引率者が審判員及び役員を兼ねていたり、選手が生徒役員を兼ねていたりする場合も考えられるため、重複する場合はいずれかの提出でかまわない。

4. 選手は、面マスク及びいわゆる家庭用マスクを持参する。
- (ア) 試合時には面マスクとシールド（マウスシールド）の着用を必須とする。
それ以外（試合までの待機中）は家庭用マスクの着用を前提とする。
試合時以外でも面マスクを着用する予定の参加者は、面マスクのみの参加で可。
マスクは口鼻を隠し正しく装着する。
- (イ) 面マスクの種類は指定していないが、飛沫の防止に有効とされている不織布マスクは、状況によって熱中症のリスクを高める可能性もあると考えられる。環境条件（気温・湿度・気流など）や選手の体調等も十分に考慮して、面マスクの適切な着用を行う。
- (ウ) 今後、大会当日までに全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」等に変更があった場合はそれに従う。変更点は直ちに連絡する。

【入場についての遵守事項】

1. 入場については、出場選手及び関係者等とする。
2. 担当者から指示があるまで、武道館外で間隔をあけて各校待機する。
3. 監督・引率者、生徒役員、保護者はIDカードを受け取り入場する。
※監督・引率者が審判を兼ねる場合は名札を身に付ける必要はない。
※報道関係者はビブスを着用する。
4. その他の遵守事項（必要な項目に○印）

参加者	検 温 (未検温者は会場で実施)	マスク	名札	手指消毒	服 装	面 マスク	マウス シールド
監督・引率者	○	○	○	○	/	/	/
審判員・役員	○	○	/	○	/	/	/
生徒役員・保護者 報道関係	○	○	○	○	/	/	/
選 手	○	○	/	○	道着・袴	○	○

※IDカードは、別のもの（リストバンド等）を代用する場合がある。

※生徒役員は、学校の制服または体操服を着用する。

5. 試合場への立ち入りは、登録選手・監督・審判・役員・来賓・生徒役員・報道関係とする。

【会場内での留意事項】

1. 選手並びに関係者等は、フィジカル・ディスタンス（人と人の距離を最低でも1m、できれば2m）を常に保つようにする。
2. 選手は会場内において、常にマスクを着用する。（試合中は面マスクを着用する。）
選手以外の関係者等もマスクを着用する。
3. 選手並びに関係者等は、会場内でも手洗い、アルコールによる除菌消毒に努める。
4. 大きな声での会話、応援等はしない。応援は拍手のみとする。
5. 会場では、換気扇をまわしたり、窓を開けたりするなど、定期的な換気を行う。
6. 選手及び監督は、団体の礼の前後や選手交替時における余計な所作（円陣を組んでの発生や胴づき、パフォーマンス、握手など）はしない。
7. 観客席は座席指定とし、できる限り間隔を空けて使用する。
8. 各校でアルコール除菌液を用意し、使用した座席を退館時に消毒する。
9. 選手並びに関係者等は、持参した物、ごみ等は必ず持ち帰る。

10. 更衣室は使用しない。特別な事由がある場合は、この限りではない。
11. 自チームの競技終了後は速やかに退館する。他チームの試合は観戦できない。
※個人戦についても競技終了後は速やかに退館する。他選手の試合は観戦できない。ただし、個人戦終了後、同校の選手が団体戦に出場する場合は応援することができる。

【暫定的な試合・審判の方法】

1. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
2. 全剣連ガイドラインに従い、試合者は、鏢競り合いを避ける。やむを得ず鏢競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、かけ声は出さない（引き技時の発生は認める）。鏢迫り合いの解消に至る時間はおよそ「一呼吸」とする。審判員は鏢競り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。
3. 審判員は、試合時マスクを着用する。各試合会場の審判員控え席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。

【主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインを受けての試合・審判に関する統一事項】

1. 主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインの通りとする。
2. 「鏢競り合いの解消」は、お互いに一旦間合いを完全に切ることにする。

【その他】

1. 今後、大会当日までに全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」等に変更があった場合はそれに従う。
2. 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。
3. 大会終了後も継続して健康観察を行い、体調管理に努める。
4. 大会終了後、2週間以内に参加者及び関係者の中から、新型コロナウイルス感染症を発症した場合、濃厚接触者の有無等について大会事務局に速やかに報告をする。
5. 大会事務局に提出した書類は、大会開催日より1ヶ月程度保管し、経過後は処分する。